

2021年度 一般社団法人 菊池青年会議所

事務局

事務局長 富田 雅春

設置背景	近年、社会状況の変化や会員数の減少など菊池青年会議所は存続の危機にあり、コロナウィルスの猛威によって活動の幅が狭まる中でも、明るい豊かな社会の実現に向けて私たちはコロナ禍でもできる最大限の方法で活動を続けていく必要があります。その中で事務局は、規律ある組織運営を行い、円滑な会議を開催できる環境を整え、各メンバーと連携を図りながら情報共有を徹底していく必要があります。また、対外に向けて菊池青年会議所の運動を発信して菊池青年会議所の活動に対して認知してもらう必要があります。さらに、熊本ブロック協議会や近隣LOMと交流や連携を図りながら、輝ける団体として存在する必要があります。
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 規律ある組織運営を行い、信頼される人財へと成長します。 ■ HPとSNSによる広報活動を行い、菊池青年会議所の活動や運動への理解者や共感者を増やします。 ■ 全メンバーと協力して会員拡大を行い、入会後に育成とフォローアップを行います。 ■ 地域各種団体及び会員会議所に向けて文書にて2020年の御礼と2021年の活動方針を発信します。 ■ 熊本ブロック大会と山鹿青年会議所50周年参加例会の実施において、同士の交流と学びを得る場を作ることで、LOMメンバーの成長と他LOMとの連携強化へ繋がります。
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> ① 各種会議の円滑な実施とメンバーとの連携 ② 対外へ向けた広報活動 ③ 会員の拡大と入会後のフォローアップ ④ 文書郵送での2020年の御礼と2021年の活動方針を発信 ⑤ 熊本ブロック大会と山鹿青年会議所50周年参加例会を実施
KGI	<ol style="list-style-type: none"> ① 規律ある組織となるために、メンバーと連携しながら、各種会議を円滑に実施します。 ② 対外に向けてSNSやHPを通じた情報発信を年間通じて行います。 ③ メンバーと連携して5名以上の会員拡大を行い、入会後のフォローアップも行います。 ④ 文書にて2020年の御礼と2021年の活動方針を発信し、40名以上に活動を知っていただきます。 ⑤ 熊本ブロック大会と山鹿青年会議所50周年参加例会にてアカデミーメンバーの参加率100%を目指します。
KSF	<ol style="list-style-type: none"> ① 各種会議を円滑に進めるうえでメンバーと連携しながら、準備と情報共有を徹底して行います。 ② 多くの方々にSNSやHPを通して、菊池青年会議所の活動や運動を発信します。 ③ 広報誌や入会案内を持参して、既存メンバー2名以上で拡大候補者にアタックを行い、例会への参加も促します。 ④ 2021年の活動方針を行政、各種団体、他LOM含め、より多くの人に理解していただくうえで文章を傳達します。 ⑤ メンター制度を導入し、新入会員の不安感を取り除くと共に熊本ブロック大会と山鹿青年会議所50周年参加例会のメリットを伝えます。
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ① 規律ある組織運営を行ううえで、時間を厳守した各種会議の円滑な実施と準備、メンバーとの連携を徹底して行います。 ② SNSやHPを通して、月1回以上の情報発信を対外に向けて行います。 ③ 拡大候補者リストを随時更新していき、拡大活動しやすい状態を整えながら、拡大候補者にアタックします。 ④ 2021年の活動方針を理解していただくうえで、行政、各種団体、他LOMを含め、より多くの人に冊子資料を配布します。 ⑤ 各例会において新入会員1名に対し、入会歴の長いメンバー1名をメンターとして配置しJC活動をサポートします。
SDGs	【4】【11】【17】
政策手法	<ol style="list-style-type: none"> ① 規律ある組織となるために、年間を通じて各種会議の円滑な実施とメンバーとの連携を徹底して行い、信頼される人財へと成長します。 ② 菊池青年会議所の運動に対する理解者や共感者を増やすために、SNSやHPで菊池青年会議所の運動を正確かつ迅速に情報発信し、菊池青年会議所の認知度を向上させていきます。 ③ 今後も運動を続けていくために、拡大候補者に菊池青年会議所の良さを知ってもらい、入会に繋げフォローアップを行い、メンバーの育成を行います ④ 行政や菊池地域の各種団体に連携していくために、2020年の御礼と2021年の活動方針を文書で発信して、JCI 菊池の活動を知ってもらい、連携強化の一助とします。 ⑤ アカデミーメンバーの成長のために、入会歴の長いメンバーにメンターを担っていただきながら、熊本ブロック大会と山鹿青年会議所50周年に参加例会をすることで、多くの出会いや学びとともに、JCの魅力に触れる機会を作ります。
パートナー	菊池青年会議所メンバー 県内LOMメンバー 熊本ブロック協議会
	地域各種団体